

謹啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます

さて この度 名古屋大学大学院国際開発研究科 国際開発・協力コース において開発研究・教育を展開する10名の教員による

『グローバルゼーションと開発』(Leading Issues in Development with Globalization) を 勁草書房より発行する運びとなりました

本書は 平成 18-20 年度の3年に渡る 科学研究費補助金 基盤研究B(一般)『グローバルゼーション下の途上国開発戦略の統合研究:「国際開発経済学」の構築』(課題番号:18330060) (代表:大坪滋) による共同研究での研究成果を元に編纂されております

経済学者の「国際開発経済学」分野を核に 国際政治学 国際経済法学 国際環境協力論 平和構築学 開発社会学 歴史・文化論 移民学の各分野の研究者の参加を得て グローバリゼーションの重要な諸相を洗い出し その下での主要な開発課題をチームとして取り扱い「グローバルゼーション」を題材に 国際開発における「政治」「経済」「文化」の整合的な提示「New Political Economy」の提示に近づけることを目指しております

本書は 国際開発を志す学生や 既にこの分野で活動されている実務家向けに編纂されたテキストであるとともに 読者が興味を持った分野において読み進むべき代表的な著作を解説入りで紹介する「参考文献ガイド」や 関連インターネット・リソースの紹介を行う「インターネット・リソース・ボックス」を配し グローバリゼーション読本としての役割も強化しておりますので 関連諸氏へのご紹介 関連講義でのご使用等賜れば幸甚に存じます

謹白

平成21年2月17日

(執筆者一同)

浅川 晃広	伊東 早苗	大坪 滋 (編者)
大橋 厚子	長田 博	川島 富士雄
木村 宏恒	新海 尚子	中西 久枝
藤川 清史		

(編者連絡先)

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院国際開発研究科

電話：052-789-4966

E-メール：sotsubo@gsid.nagoya-u.ac.jp

HP: <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/sotsubo/>



グローバリゼーションと開発

大坪 滋 編



Leading Issues in Development with Globalization

Edited by Shigeru T. Otsubo



勁草書房

グローバリゼーション下の主要開発課題は何か。
国際開発コミュニティの取り組むべき政策は何か。
国際連合、世界銀行、日本政府、途上国政府等において
「グローバリゼーションと開発」に対峙してきた編者が、
学際的チームで作り上げた学生・実務家向けのテキスト。



ISBN978-4-326-50318-6
C3033 ¥3700E



9784326503186

定価(本体3,700円+税)

勁草書房



1923033037005



この子供達の未来のために……

- [内容] 序章 グローバリゼーションと開発の主要課題 (大坪 滋)
- 第Ⅰ部 グローバリゼーションと開発の経済的課題
- 第1章 経済活動のグローバリゼーションと経済成長、不平等、貧困削減 (大坪 滋)
- 第2章 グローバリゼーションと貿易・開発政策 (長田 博)
- 第3章 開発金融のグローバリゼーションと開発援助の将来 (新海尚子)
- 第4章 グローバリゼーションと多国籍企業・海外直接投資 (大坪 滋)
- 第5章 グローバリゼーションと資源の呪い (長田 博)
- 第Ⅱ部 グローバリゼーションと開発の政治・制度的課題
- 第6章 グローバリゼーションとグローバル・ガバナンス (木村宏恒)
- 第7章 世界貿易機関 (WTO) における「貿易と開発」 (川島富士雄)
- 第8章 地球温暖化問題と国際協力 (藤川清史)
- 第9章 グローバリゼーションと紛争・戦争 (中西久枝)
- 第Ⅲ部 グローバリゼーションと開発の文化・社会的課題
- 第10章 グローバリゼーション下の社会文化変容と開発 (大橋厚子)
- 第11章 グローバリゼーションと途上国農村 (伊東早苗)
- 第12章 グローバリゼーションと国際人口移動 (浅川晃広)
- 結章 グローバリゼーションと開発ガバナンス (大坪 滋)

目次(簡略版)

序章 グローバリゼーションと開発の主要課題

大坪 滋

1. プロローグ
2. グローバリゼーションとは何か
3. グローバリゼーションの進捗状況
 - 3.1 グローバリゼーションの歴史的俯瞰
 - 3.2 第2次世界大戦後のグローバル化の進捗状況
4. グローバリゼーションと開発の主要課題
5. 本書の目的、特徴と構成

第I部 グローバリゼーションと開発の経済的課題

第1章 経済活動のグローバル化と経済成長、不平等、貧困削減

大坪 滋

1. 世界に格差をバラ撒くグローバル化?
2. グローバリゼーションと経済成長—不平等—貧困削減の三角関係
3. グローバリゼーションと経済成長、国際間不平等・格差
4. グローバリゼーションと国内不平等・格差
5. グローバリゼーションと貧困削減
6. グローバリゼーション下の開発マネジメント：
成長・格差・貧困削減のガバナンス
理論ボックス: ソロー・スワン新古典派経済成長理論とその後の経済成長論
ケース・ボックス: 貿易自由化と経済成長の「ばらつき」
ケース・ボックス: アジア金融危機と言う「ばらつき」に翻弄されたインドネシア

第2章 グローバリゼーションと貿易・開発政策

長田 博

1. はじめに
2. 貿易自由化の理論的背景
3. 開発途上国工業化のための代表的な貿易政策論
4. 輸出指向工業化政策の発展段階別モデル(東アジアの経験から)
5. 21世紀型グローバル化の特徴
6. グローバリゼーション下の「持続可能」な貿易システム展望
理論ボックス: 比較生産費説
ケース・ボックス: 日本の産業政策

第3章 開発金融のグローバル化と開発援助の将来

新海 尚子

1. 開発途上国における外部金融の歴史的考察と金融統合
2. 途上国開発の外部金融の光と影
3. 開発援助と外部金融—日本のODAについて
4. 途上国開発金融の将来
ケース・ボックス: イスラム金融と開発金融
ケース・ボックス: マイクロファイナンス 近年の動向

第4章 グローバリゼーションと多国籍企業・海外直接投資

大坪 滋

1. グローバリゼーションと多国籍企業
2. 多国籍企業と開発途上国: 「光」
3. 多国籍企業と開発途上国: 「影」

4. 多国籍企業と開発ガバナンス

理論ボックス: マクドーゴルの国際間生産要素移動モデル

理論ボックス: 海外直接投資の経済効果の応用一般均衡モデル分析

日本のアジア向け海外直接投資の経済効果

ケース・ボックス: 逃げ足の速い (foot-loose) 多国籍企業

— ナイキの sweat shop と「ナイキ・モデル」 —

第5章 グローバリゼーションと資源の呪い

長田 博

1. はじめに

2. 一次産品輸出と経済開発の議論

3. 資源をめぐる国際関係の展開

4. 資源と途上国開発の経済学

5. グローバリゼーションと一次産品価格

6. 要約と今後の課題

理論ボックス: 石油をめぐる国際政治

ケース・ボックス: オイル・ボナンザとインドネシアの発展過程

理論ボックス: 交易条件効果

第II部 グローバリゼーションと開発の政治・制度的課題

第6章 グローバリゼーションとグローバル・ガバナンス

木村 宏恒

1. グローバリゼーションの性格: 全盛か危機か

2. グローバリゼーションとグローバル・ガバナンス

3. グローバル・ガバナンスの途上国における現状

4. グローバル・ガバナンスと途上国国内ガバナンス

5. 結論と展望

ケース・ボックス: グローバル・ガバナンスと多国籍企業の活動

第7章 世界貿易機関 (WTO) における貿易と開発

川島 富士雄

1. はじめに

2. 貿易体制に対する異議申立てと途上国向け S&D の発展

3. WTO ルールの概要と S&D

4. WTO における S&D と「貿易と開発」に関する先行研究

5. ドーハ開発アジェンダの現状と見通し

6. WTO の役割と限界: 「貿易のための援助」を軸に

ケース・ボックス: カナダ外国投資審査法事件とインドネシア国民車事件

理論ボックス: 途上国向け一般特惠 (GSP) と LDC 向け無税無枠

第8章 地球温暖化問題と国際協力

藤川 清史

1. はじめに

2. 持続可能な開発

3. 地球温暖化とは

4. 地球温暖化防止をめぐる国際協力の経緯

5. CDM の有効性と実態

6. 今後の温暖化防止策の展望

理論ボックス: CDM の有効性

ケース・ボックス: 太陽光発電

第9章 グローバリゼーションと紛争・戦争

中西 久枝

1. はじめに
 2. グローバリゼーションと現代の紛争・戦争
 3. グローバリゼーションとディアスポラ・ポリティクス
 4. グローバリゼーションとデモクラティック・ピース論
 5. グローバリゼーションと安全保障理論の変化—「人権」論の限界から「人間の安全保障」へ
 6. おわりに
- ケース・ボックス: 平和構築の難しさを証明するアフガニスタン

第III部 グローバリゼーションと開発の文化・社会的課題

第10章 グローバリゼーション下の社会文化変容と開発

大橋 厚子
(執筆協力) 東村 岳史

1. 用語と視角
 2. 開発にかかわるグローバルな社会文化現象
 3. 開発プロジェクトと文化
 4. 結びにかえて
- ケース・ボックス: 「翻訳的適応」の事例

第11章 グローバリゼーションと途上国農村

伊東 早苗

1. グローバリゼーションと途上国農業
 2. グローバル生産システムの変貌とアグリビジネス
 3. アグリビジネスと途上国農民
 4. 契約栽培と途上国農民
 5. グローバル生産システムと労働
 6. 消費者と生産者をつなぐもの
- 参考文献ガイド
ケース・ボックス: バングラデシュの冷凍エビと養殖農家
ケース・ボックス: 英国における倫理的貿易活動の推進

第12章 グローバリゼーションと国際人口移動

浅川 晃広

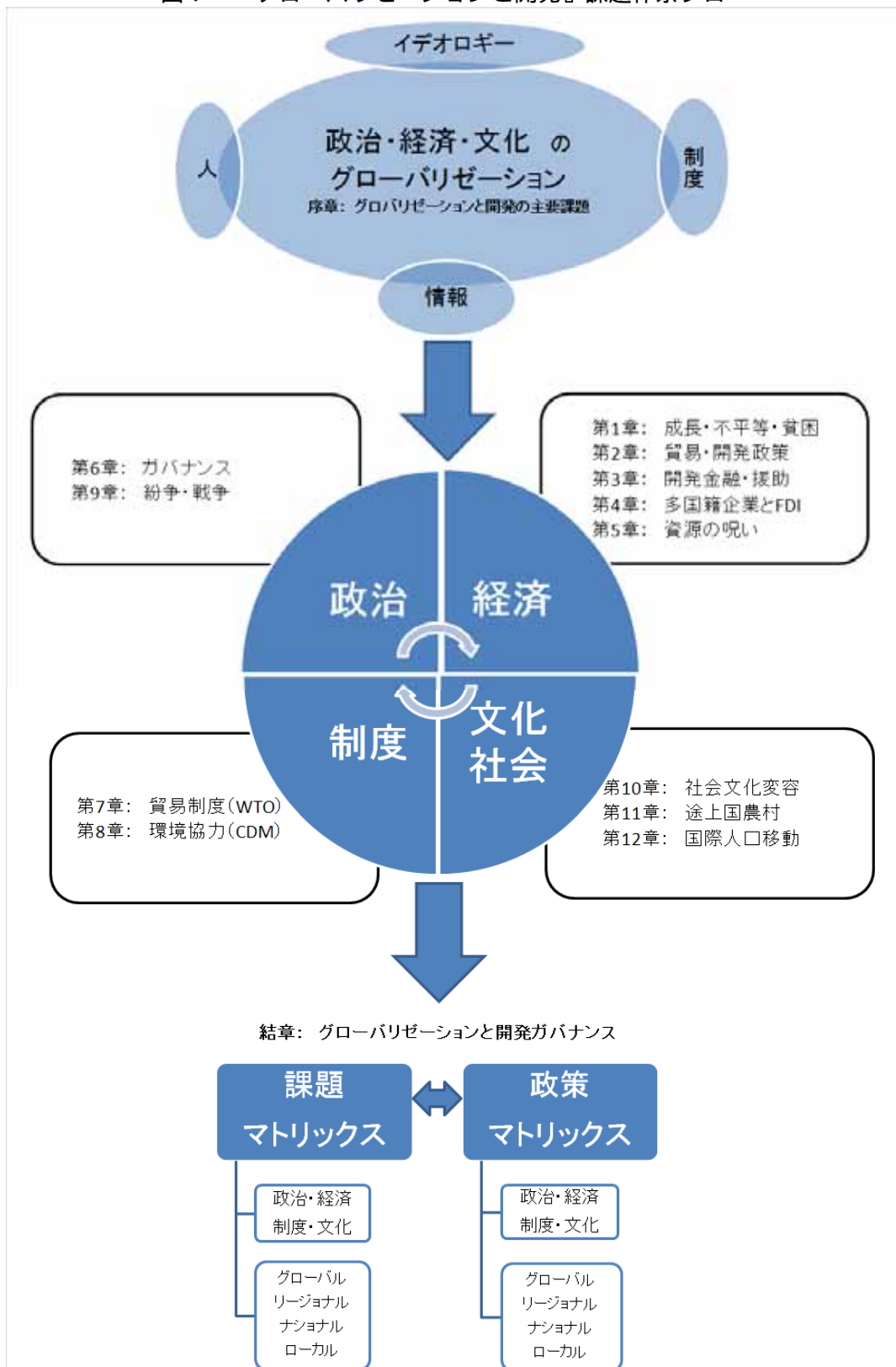
1. はじめに
 2. 国際人口移動の歴史的展開と国家の役割
 3. 現代の国際人口移動における開発的側面
 4. 日系ブラジル人問題と移民政策
 5. 受入国・送出国・移民自身の利益の最大化へむけて
- ケース・ボックス: ベトナム人看護師養成支援事業とその意義

結章 グローバリゼーションと開発ガバナンス

大坪 滋

1. 本書の課題体系フロー
2. 何が問題なのか?
3. 何がなされるべきか?
4. エピローグ

図： 『グローバル化と開発』課題体系フロー



(出所) 筆者作成.